

の状況を視察することにより、その成果等について学び、薩摩川内市への応用、展開を検討する。

六 調査概要

(一) 香川県高松市  
「高松市新設統合小中学校建設事業」について

(二) 兵庫県姫路市  
「姫路市防災センター（防災プラザ）」について

(三) 大阪府茨木市  
「e-ラーニング学習支援システム『いばらきっ子スタディ』」について



e-ラーニング学習システム(茨木市)

七 所感  
視察の背景には、いずれ本市が直面するであろう、小中一貫教育に関連した学校統廃合問題、消防局舎建設問題、パソコン教育問題

などがあり、どの視察先でも各委員から活発な質問が出され、実に有意義なものであった。

各委員としては、行政視察の内容を十分に咀嚼の上、視察の体験を生かし、本市発展のために議論を展開するよう努める。

**原子力発電所対策調査  
特別委員会**

一 調査事項 川内原子力発電所の安全対策及び関連する諸問題について

二 調査先 青森県六ヶ所村・岩手県葛巻町

三 調査日 七月十四日から十六日まで(三日間)

四 出席委員 池脇委員長、川添副委員長、上野委員、杉園委員、永山委員、井上委員、佃委員、新原委員、今塩屋委員、徳永委員、大坪委員

五 調査の目的  
原子力発電所の燃料製造から放射性廃棄物の管理に至るまで、原子力行政の在り方についての解を求めるとともに、風力、太陽光、バイオマス等の自然エネルギーを中心としたまちづくりに取り組んでいる先進事例を基に、本市の政策展開への参考とするためのものである。

六 調査概要  
(一) 日本原燃株式会社の事業概要等について

(二) ウインドファーム(風力発電)の現状について  
(三) 岩手県葛巻町エネルギー政策について

七 所感  
今回、様々なエネルギー関連施設を視察し、エネルギー問題は国策で検討していくことが重要な課題であることを検証した。

また、本市としても自然エネルギーに対して積極的に取り組み、総合的なエネルギーの街を模索していくことで、現有する施設の有効利用の一端を担うことが可能であると考える。



特別委員会視察

**交通体系整備対策調査  
特別委員会**

一 調査事項 道路・交通ネットワーク及び港湾の整備に関する諸問題について

二 調査先 山口県萩市・新潟県佐渡市

三 調査年月日 七月十四日から十六日まで(三日間)

四 出席委員 宮里委員長、小田原副委員長、江口委員、森永委員、福元委員、江畑委員、東委員

五 調査の目的  
離島航路の現状と市の取組について学び、薩摩川内市への応用、展開を検討するものである。中でも、甌島商船株式会社が高速船「シーホーク」の老朽化に伴い、新たな高速船の導入を検討していることを受け、他市における高速船の運行航路の状況を参考とするためのものである。

六 調査概要  
(一) 萩市  
萩・見島航路  
(二) 佐渡市  
新潟・両津航路、寺泊・赤泊航路、小木・直江津航路

七 所感  
今回、山口県萩市、新潟県佐渡